

今号の記事

〈2・3面〉健診は健康づくりの第一歩／特定健診・胃がんリスク健診のご案内／たいせつな嚙下のはなし②／正しく知ろう認知症その6／診療案内
〈4面〉「いっしょに地域医療をやらないか」／まちがいさがし／読者の声

へいわと健康

だれでも、いつでもかかれる、安心・安全の医療をめざして

〒631-0818 奈良市西大寺赤田町1-7-1
社会医療法人平和会吉田病院 法人事務局
発行責任者 常務理事 中西隆成
☎(0742)45-4601(内線216)FAX(0742)45-5085
http://www.heiwakai.or.jp/

第22回 HPH国際会議 (スペイン・バルセロナ)

『住民との共同』に世界が注目



22nd International HPH Conference
April 23-25, 2014
Barcelona, Spain

ガウディ未完の建築、サグラダファミリア教会



ポスター発表会場で参加者に説明する市川理事長

市川理事長、平和会のとりくみを発表

4月にスペインのバルセロナ市で開催された第22回HPH国際会議に市川篤平和会理事長が日本代表の一員として参加、ポスター発表を行ない、国際的な評価を受けてきました。(平和会HPH推進委員会・森駿志)



日本代表団の交流会。国際HPHネットワーク事務局長のターネンさんを囲んで

HPH国際会議は「健康づくりの前進のために病院やヘルスサービス文化を革新する」をメインテーマに、世界48カ国から総勢739名が参加、奈良からは市川理事長のほかあしび薬局の薬剤師、杉村健太郎さんが参加しました。市川理事長の発表テーマは「任意型がん検診を行政型がん検診に変える運動」。地域におけるがん検診受診率向上のために住民と共

同した2つの経験を発表しました。
ひとつはとみお診療所が1990年代にくりくんだ太陽がん検診。まだ奈良市が大腸がん検診を始める前に500円の低料金で先駆的に実施したのです。奈良市が検診採用へと発展するさきかげとなつた経験でした。ふたつめは現在の胃がんリスク検診。「地域から胃がんをなくそう」を合言葉に健康友の会とともにとりくんだ結果急速に拡大し、受診者は3年間で5000名を超えました。地域での早期胃がんの発見と早期治療につながることをアピールしました。今後さらに、奈良市への働きかけを通じ行政検診化をめざしていくこと、医療機関とし

てビロリ菌除菌による一次予防の推進が重要となっていることを報告しました。医療機関が住民との共同のとりくみで行政に働きかける事例は、他国の報告ではみられず、ほかに参加した民医連事業所の発表とともに各国の参加者から注目を集めました。発表は最後を次のように結んでいます。「保健予防活動で重要なのは、個人への十分

な情報提供、自己負担金の軽減、受診キャンペーン、そして最も重要なことが地域住民との共同である」
* 次回の国際会議は来年ノルウェーのオスロで開催予定です。平和会では住民のみならず地域の健康づくりをすすめていき、来年も世界に発信していきたいと考えています。



世界遺産、コロニア・グエル教会を訪問。「まさにガウディの最高傑作、感銘を受けました」(市川理事長)

学校薬剤師の活動を世界に発信



あしび薬局敷島店 薬剤師 杉村 健太郎

今回の国際会議には「学校薬剤師の活動」をテーマにポスター発表で参加しました。学校プールの水質検査や、薬や煙草に関する指導を紹介したものです。他の参加者から「そのような活動を薬剤師が行なっていると

は知らなかった」との感想がありました。このような活動は子どもたちの将来の健康増進にもつながり、サテームのひとつ「地域とのコラボレーション」という点でもまさにHPH活動であることを再確認しました。諸外国の報告を聞いてきたものを生かして、地域の人が自分の健康への関心を高めてもらう活動も広めていきたいと思いました。

へいわの丘

2カ月毎に『へいわと健康』編集委員会から短いコメントが届く。今回は

「今回は特にリズムカ的な文章で読み応えあふりました。安倍政権になつてから特に予断を許さない状況が続いておりませんが、今回もぜひ宜しくお願ひ致します」
▼この様にうまく乗せられて、もう9年間もコラムを書き続けて来た。送り主は法人事務局のN課長だ。彼は先の文書を書いた2日後に、何の予告もなく、突然旅立ってしまった▼N課長が危惧していた様に今、日本国憲法が危機に瀕している。先日集団的自衛権容認が閣議決定され、今後米国の味方として自衛隊が海外で戦える法整備を進めることとなった。米国の味方として世界中で戦闘すると宣言したため、日本もテロ攻撃の対象になる可能性は増大し、攻撃を受けて個別的自衛権行使の名目で戦争に引き込まれる危険性も格段に高まった。戦争の可能性が高まると同時に武器輸出も緩和され活発になつて来ている▼この戦後最悪最低の政府の危険性を残してN課長は旅立ち、遠くからわれわれを見守っている。遺志を引き継ぎ、なんとしても日本の平和ブランドを守ろう。